

はなみずき

第20号

(平成26年7月号)



地域医療の充実を目指して

～ドクターカーとDMATカーの紹介～

今回は救急時と災害時に威力を発揮する
特殊車両を2台新調しましたので、ご紹介します。

■ 救命救急センター 副センター長 林 靖之

ドクターカーとは文字通り「医師の乗っている救急車」のことで、済生会千里病院千里救命救急センターでは、平成5年からドクターカーを豊能地域で稼働させています。このドクターカーは各消防本部からの出動要請を受けて現場に赴き、救急隊と協力して重症患者さんの救命処置を現場から実施します。そのため、患者さんは病院に来られる前の早い段階から治療を受けることができます。現在出動件数は年間2200件程度で、患者さんの状態が重症の場合は救命救急センター（第三次救急医療機関）へ搬送しますし、そうでない場合にはかかりつけ病院あるいは最寄りの救急病院（第二次救急医療機関）へ搬送します。救命救急センターはよく救急患者さんのための最後の砦と言われますが、当センターのドクターカーはこの地域での最初の砦として市民の皆様のために日夜がんばっています。



■ 医療秘書室室長 寺澤 ゆかり（日本DMAT業務調整員インストラクター）

DMAT（災害派遣医療チーム：Disaster Medical Assistance Team）とは、「災害急性期に活動できる機動性を持ち専門的な訓練を受けたチーム」の事で、大規模災害や多数傷病者発生時に現場へ迅速に駆けつけ医療活動を行っており、当院では現在日本DMAT 22名、大阪DMAT 19名が登録されています。チームは移動手段を有していることが望ましいので、今回DMATカーを新調しました。この車両は赤色灯を搭載しているので緊急走行が可能で、大規模災害時には「災害時優先道路」を走行することが可能です。多くの資器材が搭載可能で、通信が途絶するような災害時には「車載用衛星通信回線」が威力を発揮します。また医療チームを指揮できるよう「大画面モニター」や「タープ（悪天候下でも活動できるように車から張り出すテント）」も搭載しているので、雨天時でも現場指揮所を設営し活動することができる多機能な車両です。



当院ご利用案内

診療受付時間

☆月～金曜日 8:30～11:30 12:30～14:30
☆土曜日 8:30～11:30
☆休診日 日、祝、12/31、1/1、1/2、1/3(年末年始)
・学会・出張等で、担当医師が休診又は代診となる場合があります。 予めご了承下さい。

初診の方で紹介状をお持ちでない方には、別途保険外併用療養費として、3,240円いただきます。
歯科・口腔外科、耳鼻咽喉科、心療内科、神経内科への受診は、予約の上紹介状が必要となります。
詳しくは当院ホームページの外来診療のご案内をご覧ください。

医療相談窓口

患者さんやご家族の方々から下記のような様々なご相談をお受けしています。
誰に相談していいかわからないことがあれば、まずは医療相談窓口にご相談ください。

- (1) 医療に関すること
- (2) 当院での受診に関すること
- (3) 病院に対するご意見、ご要望、苦情等に関すること
- (4) 個人情報保護に関すること
- (5) 医療安全に関すること

なお、医療相談窓口でお受けしたご相談内容でご希望があれば、日時を調整の上当院の第三者委員を交えて相談することができます。

新任Dr. 紹介



大腸がん診療医としての 取り組み

外科主任部長 福崎 孝幸

日本で1年間に新たに大腸がんと診断された人数は、2006年では男性は約6万人、女性は約5万人であり、増加傾向にあります。臓器別で比較すると、大腸がんは男性では3番目、女性では2番目に多いがんです。また、2012年のがんによる死亡者数で大腸がんは男性3位、女性は1位になっています。

では、大腸がんが治りにくい病気なのかというと、そうではありません。大腸がんは、早期に発見すれば高い確率で、完全に治すこと(治癒)ができます。

大腸がん検診を毎年受けることで、早期発見に繋がり、死亡率を約60～80%減らせるという調査報告もあり、吹田市の大腸がん検診(便潜血検査)は、年一回、40歳以上の方を対象に実施しています。検診結果で精密検査が必要となった場合、当院消化器内科の大腸がん検診外来(予約制*注1)にて受診いただければ精密検査や必要であれば内視鏡的治療が早期に開始することができます。

当院では大腸内視鏡検査を年間2300件以上実施しています。さらに、腫瘍があれば内視鏡治療を積極的に行い、EMR(粘膜切除)はESD(粘膜下切除)19件を含めて、102件行っています。(平成25年実績)

内視鏡治療ができない方は手術治療になりますが、当院での手術実績は、年間110件を超え、そのうち約6割は患者さんの体への負担が少なく術後の痛みも軽い腹腔鏡手術で実施しています。今後も低侵襲の腹腔鏡手術、並びに術後早期回復を目指すERASプログラム(詳細は当院ホームページをご参照下さい)をさらに進めていきたいと考えています。

また、大腸がんの化学療法は乳がんとは並び多種多彩な研究の結果、高度な治療法が増えてきました。当院では最新のガイドラインに即した治療を行うとともに、そのような医学の進歩につながる臨床試験(大阪大学消化器外科 大腸疾患分科会、先端医療振興財団等)にも積極的に参加しています。このような活動からも、最新で最善の治療を地域の皆様に提供していきたいと存じます。

*注1 予約などの詳細に関しましてはお電話にて内科受付(平日14時～16時)にお問い合わせ下さい。

【プロフィール】

昭和61年 大阪大医学部卒業
昭和61年 大阪大学医学部第二外科にて外科研修 勤務
昭和62年 県立西宮病院にて外科研修 勤務
平成2年 大阪大学医学部第二外科研究生
平成6年 ハーバード大学ディーコネス留学
平成9年 藤本病院 外科 勤務
平成13年 市立池田病院 外科 勤務
平成26年 大阪府済生会千里病院 外科 勤務

【所属学会】

日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本内視鏡外科学会、日本大腸肛門病学会、日本ヘルニア学会、がん治療医認定機構認定医、近畿外科学会、大腸癌研究会、関西ヘルニア研究会



就任あいさつ

歯科・口腔外科部長 金崎 朋彦

本年4月から大阪府済生会千里病院歯科口腔外科に赴任しました金崎朋彦です。

口腔外科で取り扱う疾患は、腫瘍、粘膜疾患、外傷、炎症、顎関節症、神経疾患、先天疾患に大別されます。その中でも外傷と炎症特に急性炎症は、的確かつ早急な診断と処置が求められます。軟組織の外傷のみなら縫合で対応可能ですが、硬組織の外傷すなわち骨折の場合は手術適応の有無の判断にせまられます。急性炎症特に歯性感染の場合、下方に波及すると気道閉塞を起こし、上方に波及すると脳膿瘍を形成するなどのADLを左右することになるため早期の対応が必要になります。このように急を要する症例は少なくなく、当日全身麻酔下手術症例もあり、当科では可能な限り対応していきたいと考えております。

高齢化が進み顎関節脱臼症例を診察する機会が増えました。個々の症例で方針は異なりますが、保存的治療から観血的治療まで対応していきます。

ビスフォスフォネート系製剤による顎骨壊死につきましても、適応があれば外科的治療も有効であるため、処

方医と連携をとり可能な限り積極的に口腔外科的処置も行っていきたいと考えております。

現在周術期口腔機能管理が保険診療で認められていますが、現時点ではマンパワーの問題から十分な対応ができていませんが、今後取り組むべき問題と認識しております。

地域の先生からの紹介が非常に大きなウェイトを占めるため、紹介してよかったと思われる信頼のおける科になるよう、また受診された患者さんも十分納得のいく治療を展開するよう自分なりに努めていきます。

地域の口腔外科の中核を担うものとして責務を果たしたいと思いますので、皆さまこれから宜しく願いいたします。

【プロフィール】

平成6年 広島大学歯学部 卒業
平成10年 大阪大学大学院歯学研究科 修了
平成10年 大阪大学歯学部附属病院 勤務
平成11年 天理よろづ相談所病院 勤務
平成14年 大阪大学歯学部附属病院 勤務
平成19年 市立豊中病院 勤務

【所属学会】

日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本顎関節学会、日本口腔感染症学会、AAOMS
口腔外科学会専門医、日本顎関節学会専門医、ICD(OD0025)

えいようだより eiyo-dayori

あじ 鰯の焼きマリネ

～酸味をきかせてさっぱり！夏バテ予防～

栄養科 管理栄養士 喜多 茉莉子



【エネルギー：176kcal 塩分：1.2g】

<材料>（1人前）

鰯（切り身） 60g	だし 1/4カップ
塩 0.3g	酢 大さじ2
こしょう 適量	[A] 砂糖 大さじ1/2
小麦粉 5g	塩 小さじ1/8
サラダ油 小さじ1/2	薄口醤油 小さじ1/2
黄パプリカ 10g	きゅうり 20g
赤パプリカ 10g	ミニトマト 2ヶ
人参 10g	レタス 適量
玉ねぎ 30g	レモン 1/4個

《作り方》

- ① 鰯は塩、こしょうで下味をつけておく。
- ② 黄パプリカ、赤パプリカ、人参、玉ねぎは細切りにする。
- ③ 鍋に [A] の調味料と②の野菜を入れ火にかけ、煮立ったら火を止めて、粗熱をとる。
- ④ ①の鰯に小麦粉をうすくまぶす。
フライパンにサラダ油を熱し、鰯の両面がこんがり焼き色がつくまで焼く。
- ⑤ 鰯が焼けたら、熱いうちに③に漬け、味をなじませる。
- ⑥ きゅうりを千切りにし、レモンはいちょう切りにする。
- ⑦ 器にレタスをしき、⑤の鰯と漬け込んだ野菜、⑥のきゅうりとレモン、ミニトマトを盛りつける。

<夏バテ予防のための食事>

暑い時期は、体力の消耗が激しく、胃腸の働きも衰えがちになります。冷たい物やそうめん、ひやむぎなどあっさりとした食べ物でつい食事を済ませがちになりますが、これでは十分な栄養をとることができず、疲労の回復が遅れたり、体調を崩してしまうことがあります。夏バテを予防するためには、ご飯やパンなどの主食、肉・魚・卵・大豆製品など良質なたんぱく質、ビタミンやミネラルを豊富に含む野菜や果物を食事に取り入れるようにし、1日3食、栄養バランスのとれた食事を心がけましょう。

また、今回ご紹介したメニューには、お酢やレモンを使用しています。お酢の酸味やレモンなどの柑橘類には、食欲増進や疲労回復の効果があります。食欲のないときでも、さっぱりとして食べやすいですよ。

無料低額診療事業のご案内

医療費に関する相談を受け付けています

当院は社会福祉法人の病院であり、社会福祉法第2条第3項に規定されている、経済的な事情により必要な医療が受けられない人々に対して、可能な限りその経済的負担を軽減し、適切な医療をうけることができるよう支援することを目的とした無料低額診療事業を実施しています。医療費の支払いについてのご相談は、福祉相談室で受け付けています。

【当院独自の制度があります】

- ・ 非課税所得の方を対象とした医療証
（限度額適用・標準負担額減額認定証 区分I・IIや高額療養費限度額認定証C）
- ・ 一部負担金相当額等一部助成医療証
- ・ 身体及び知的障がい者医療証
- ・ ひとり親家庭等受給者証
- ・ 特定疾患医療受給者証
- ・ 自立支援医療受給者証

などの医療証の対象となっている方は医療費の一部負担金が免除になる場合があります。また、急な入院による医療費の負担が重い方や失業などによって収入が少ない方についてもご相談を承っています。

福祉相談も行っています

福祉相談室・在宅支援室では、治療にあたって心配なことや介護保険や福祉サービスの利用について相談を承っています。



詳しくは福祉相談室までお尋ね、ご相談下さい。

無料低額診療事業に関する相談時間：平 日 10 時 ～ 16 時
土 曜 日 10 時 ～ 12 時

受付状況によりお待たせする場合がございますがご了承下さい。



社会福祉法人
大阪府済生会千里病院

院長 木内 利明

第7回 認定看護師の紹介 Introduction

救急看護 認定看護師



荒瀬 典子
認定看護師

救急看護認定看護師の荒瀬です。
“救急看護”と聞くと、患者さんが急変した時や初療での救急対応の場面で力を発揮する看護師？と思う方が多いと思います。もちろん、患者さんが急変した時の対応も行いますが、普段は

いかに患者さんの急変を防ぐか、いかに患者さんの全身状態を悪化させないかという視点で看護を行い、患者さんの早期回復をサポートしています。

医療スタッフの中で、患者さんやそのご家族と接する時間が長いのが看護師です。その分、看護師は患者さんやご家族の少しの変化に気付くことができると考えています。『変化に気付く力』は、看護の基礎となる観察に始まります。ただ単に観察しても、『変化に気付く力』がなければ、患者さんを見ただけで終わってしまいます。フィジカルアセスメントや家族看護の講義、急変時対応のシミュレーションを通して、看護の基礎となる観察の知識やスキルを強化し、当院の看護師に『変化に気付く力』をつけてもらい、患者さんにご家族が安心して療養できる病院になるよう取り組んでいます。

現在の活動の中では、呼吸器ケアサポートチームに所属し、呼吸器ケアラウンド（呼吸器ケアの必要な患者さんへの回診）を月2回しています。その中で、患者さんのベッドサイドで呼吸を観察し、医師・理学療法士・臨床工学技士・受け持ち看護師と相談し、時には患者さんのご家族とお話をし、患者さんに合った呼吸ケアを検討・実践しています。

また、月2回の認定活動日には各病棟をラウンドしています。患者さんのケアに困っていれば、看護師にケア方法をアドバイスしたり、病棟カンファレンスに参加し

たりしています。看護師が患者さんの病態に関する勉強に行き詰っていれば、勉強の相談に乗って、患者さんの身体の状態を理解し、看護ケアにつなげられるようサポートしています。

救急看護認定看護師は、全ての患者さんにご家族を対象としています。患者さんやご家族に心をこめて、最高最適の医療が提供できるよう、日々研鑽したいと思います。

ひとくち メモ

認定看護師とは

認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野（現在21分野）において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者をいう。

認定看護師の役割

認定看護師は、看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献する。

- ・実践：特定の看護分野において、個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。
- ・指導：特定の看護分野において、看護実践を通して看護者に対し指導を行う。
- ・相談：特定の看護分野において、看護者に対しコンサルテーションを行う。
- ・相談：特定の看護分野において、看護者に対しコンサルテーションを行う。

認定看護師になるには

看護師の免許取得後、実務研修が通算5年以上。（うち3年以上は認定看護分野の実務研修）→6ヶ月、615時間以上の認定看護師教育機関通学→筆記試験に合格を経て認定看護師に登録をすることができる。（更に5年ごとの更新がある。）

救急看護認定看護師について

求められる技術と知識は、「救急医療現場における病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施。災害時における急性期の医療ニーズに対するケア。危機状況にある患者・家族への早期的介入及び支援」

本年6月現在の登録者数は、大阪府で109名。

（参考資料：日本看護協会のホームページ）

医療の提供の結果に関する事項（厚生労働省「医療広告ガイドライン」に準拠）

項 目	単位	H25年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H26年 1月	2月	3月	4月
新 入 院 患 者 数	人	857	801	769	874	839	773	850	804	800	810	741	779	785
退 院 患 者 数	人	822	803	802	825	879	753	848	817	853	733	735	801	793
入 院 延 べ 患 者 数	人	9,644	9,664	9,402	9,649	9,701	8,906	9,793	9,176	9,479	9,470	9,131	9,942	9,507
1 日 平 均 在 院 患 者 数	人	321.5	311.7	313.4	311.3	312.9	296.9	315.9	305.9	305.8	305.5	326.1	320.7	316.9
平 均 在 院 日 数	日	10.4	10.9	10.9	10.2	10.1	10.6	10.5	10.3	10.2	11.1	11.0	11.2	11.5
手 術 件 数	件	287	281	267	297	306	257	295	259	297	269	268	283	306
1 日 平 均 外 来 受 診 患 者 数	人	532.9	575.3	520.4	548.0	510.2	550.6	543.0	546.3	573.2	563.0	539.6	511.1	525.8

※病床数343床、そのうち救命救急センター43床

当院の活動紹介

「フィリピン災害医療支援における 国際緊急援助隊の活動を経験して」

大阪府済生会千里病院
千里救命救急センター(SCCMC)

主任 植松 愛



平成25年11月8日、大型の台風30号(フィリピン名: Yolanda)は、フィリピン中部を直撃しレイテ島を中心とした広い範囲に甚大な被害をもたらしました。フィリピン国政府からの緊急支援要請を受け、国際緊急援助隊・医療チームの派遣が決定し、11月11日に1次隊が派遣されました。1次隊派遣の結果、引き続き医療支援のニーズが確認され、11月20日から医療チーム2次隊、11月29日から医療チーム3次隊が派遣されました。

私は、医療チーム3次隊(医師4名、看護師7名を含む計24名)の一員として、11月29日民間航空機でマニラへ出発しました。翌30日に同じく民間航空機でマニラからレイテ島タクロバンへ移動し、2次隊と合流しました。

被害の大きかったタクロバン市では、日本をはじめ各国から多くの救援チームが活動を行っていました。発災から3週間が経ち、医療支援のニーズは急性期支援から中長期支援へと移行していました。

東日本大震災で得た教訓として、発災後早期からの公衆衛生、慢性疾患患者や妊婦検診などが重要であることが認識されていたため、私たち3次隊は、急性期から復旧・復興支援へと繋げるための支援活動とは何か、という事をチーム全体で考えながら活動を行いました。また、支援活動の偏りを最小限とするために早期から周辺地域へのニーズ調査が行なわれていました。その調査結果を踏まえ、私たち3次隊は、隊を二分し、タクロバン市内のリサール公園の診療 TENT 活動と同時に、医師、看護師、調整員で構成する「モバイルチーム」を結成し、支援の行き届いていないタナウアン州およびトロサ州への巡回診療を行いました。

巡回診療で訪れた村々は、市街地と比べ建物が密集していないため、一見被害は少ないように思えました。しかし、家屋のほとんどは屋根が飛び、倒れた木々が原因で壁が崩れてしまっている家も数多く見られました。また、所々に生えているヤシの木は、すべて葉が一方を向き、幹の途中で折れているものもありました。このようなヤシの木を見るだけで台風の威力を感じ取る事が出来ました。

巡回診療は、臨床検査やレントゲン撮影がない以外はリサール公園の診療 TENT と同様の診療形態で行いました。受付で患者をトリアージし、診察(医師2診体制)や処置の後、必要に応じ薬剤を処方するという流れです。

診療 TENT と異なるもう一つの点は、毎日、巡回診療を行う場所が変わるため、巡回診療を行う村へ到着後、患者の動線を考えて診療所のレイアウトを考えセッティングしなければいけないという事でした。しかし、現地の方々が進んで椅子や机を提供してくださったおかげで、スムーズに診療所のセッティングを行うことができた診療を開始することができました。女性限定でしたが、自宅のトイレを貸してくださるご家族もいらっしゃいました。その方々の心温まる行動に、どんなに辛い時でも他人を思いやる心をもつ大切さを再認識しました。

リサール公園の診療サイトでは、診療時間はホテルまでの移動時間を考慮して、8時半から12時半までとしました。気温は40度近く、湿度も60%を超える毎日でしたが、1時間ごとを目安に休憩が取れるようにし、こまめに水分を取るよう皆で声を掛け合うようにしたため、熱中症など体調不良を訴える隊員は一人もいませんでした。

患者は、呼吸器疾患や瓦礫の撤収作業による軽傷外傷、湿疹や粉瘤などの皮膚疾患、その他台風被害による身体的苦痛や、不安・不眠などの精神的苦痛を訴える患者が多くみられました。

その中でも印象に残っている患者がいました。それは、脳性麻痺で左半身麻痺となった女の子でした。その子の母親は、「以前、マッサージをしてもらって少し筋肉がほぐれて本人も楽そうだったの。」と言って診療にこられました。

リハビリを受けていない女の子の腕や足は、筋肉が萎縮し拘縮しかけていました。それでも母親にマッサージをしてほしい場所を確認しながら、女の子にも「痛くない?大丈夫?」と声をかけながらマッサージを続けました。最初は、私が体に触れる度に不随運動が出てしまい、女の子の表情も強張っていました。しかし、徐々に曲がったままの肘や指は伸ばせるようになり、表情も幾分か和らいでいったように思いました。マッサージを行った時間は10分程度でしたが、母親は何度もお礼を言って帰られました。その日の巡回診療が終了し、資機材を車両に積み込んでいるとき、遊んでいる子ども達の中にその女の子の姿がありました。私に気づくと、恥ずかしそうに手を振ってくれました。「ありがとう」と言ってくれているような気がして、胸が熱くなりました。

今回の診療で、私たち医療チーム3次隊は、10日間でリサール公園と巡回診療(7カ所)で、合わせて1249名の患者を診療しました。現在も被災地では400万人以上の方が避難生活を送っています。ほんのわずかな方への関わりでしたが、この派遣を通じて、看護師として、患者と接する者として、人として、決して忘れてはいけない大切なものを再認識する事が出来ました。

この活動を振り返り、学び得た多くの事を、今後、看護師として関わる全ての事に生かしていきたいと思えます。

最後になりますが、今回の派遣における関係者皆様、また、このような貴重な機会を与えてくださった方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(平成26年1月記)

行事予定

済生会千里病院

平成26年
7月～9月

※変更になる場合があります。
予めご了承下さい。



■ 糖尿病教室

【日時・演題】 7月7日(月)「尿検査について」「フットケア」
8月5日(火)「いつもとちょっと違う糖尿病の話 ～糖尿病の歴史や最新情報について」
9月1日(月)「糖尿病における歯周病」他 ※いずれも13:00～14:00

【開催場所】 病院東館3階研修室 【お問い合わせ】 栄養科 06-6871-0121 内線208

■ 心臓病教室

【日時】 毎週水曜日 11:30～
【開催場所】 病院4階 心臓リハビリテーション室
【お問い合わせ】 心臓リハビリテーション室 06-6871-0121 内線680

■ 南千里地区公民館主催健康講座

【日時・演題】 7月12日(土) 13:30～
「膝関節痛 その原因と治療法 特に痛みが少なく、正確で安全な人工膝関節置換術について」
「夜中のトイレはなぜ近い」
【開催場所】 千里市民センター大ホール 【お問い合わせ】 なでしこプラン推進室 06-6871-0121 内線603
※定員となり申込み終了しました。

■ 母親教室 (※要予約)

助産師が妊娠後半期のマイナートラブルや分娩経過・入院方法について分かりやすく説明しております。
ご家族の参加もお待ちしております。

【日時】 毎月2回(第1木曜日・第3土曜日)
【開催場所】 病院3階デイルーム 【お問合せ先】 産婦人科外来 06-6871-0121

★ 乳腺疾患勉強会 (予告)

【日時・演題】 10月11日(土) 14:00～15:30
「乳がんの手術療法～残しますか? 作りますか?～」
「手術後の下着どうしたらいいの? ～補正下着の種類と使い方～」
【開催場所】 病院東館3階 研修室 【お問い合わせ】 入退院管理室 河野 06-6871-0121

セカンド・オピニオンについて

他院の病院で治療を受けられている方が、
当院の医師に意見を聞きたいというご
希望に応える為に、セカンド・オピニ
オン外来を行っております。

【お問合せ】
1階総合受付カウンター (医事課)

患者さんへのお願い

- 療養環境向上の為、敷地内禁煙とな
っておりますのでご理解いただきますよ
うお願いいたします。
- 携帯電話のご利用は「携帯電話エリア」
にてお願いします。なお職員が使用し
ております携帯電話(赤色ストラップ付)
は、一般の携帯電話とは異なるものです。

卒後臨床研修病院について

当院は臨床研修医に対する教育病院(臨
床研修病院)です。
指導医の指導の下、日々研鑽を積みな
がら患者さんの診療に当たっております。
臨床研修医に対し、お気付きの点があ
れば、何なりとご意見をお寄せ下さい。

済生会千里病院の理念

「心のこもった医療」

基本方針

私たち、済生会済生会千里病院の職員は、

- 1.窮境にある人々の医療を積極的に支援します。
- 2.安全で良質な医療を心をこめて提供します。
- 3.医療の透明性とアカウンタビリティ(説明責任)に忠実である病
院を実現します。
- 4.地域の中核病院として、また救急医療を含む急性期医療の実践に
より地域医療に貢献できる病院を実現します。
- 5.常に研鑽を積み、最高、最適の医療を追求します。

職員の信条

私たち職員は、患者さんのために、地域のために、心をこめて最高
最適の医療を提供します。

個人情報保護方針について

個人情報保護法の趣旨を尊重し、患者さんの個人情報を厳重に管理
し、これを担保するために「個人情報保護方針」「個人情報保護規
程」「個人情報保護計画」を定めております。

患者さんの権利と責務

(患者さんー医療者のパートナーシップの強化)

- 1.どなたにでも常に人格を尊重し、良質で安全な医療を公平に提供
します。
- 2.あなたの病気やその診療について、わかりやすい言葉で詳しく説
明をするよう努めています。もし、わからないところがあれば質
問してください。
- 3.あなたが、気になること、疑問に思うこと、希望することなど、
遠慮なくご相談下さい。
- 4.他の医師の意見(セカンド・オピニオン)や他の医療機関に転院
を希望される場合は、おっしゃってください。
- 5.治療方法などをご自分の意思で決めていただけるよう、十分な説
明と情報提供を行います。
- 6.診療の過程で得られた個人情報の秘密を守ります。また、病院内
での私的な生活が、可能な限り他人にさらされず、乱されないよ
うに努めます。
- 7.良質な医療を提供するため、あなたの健康に関する情報をできる
だけ正確に伝えていただくようお願いします。
- 8.すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さ
んの診療に支障をきたさないよう、ご配慮をお願いします。
- 9.お互いに理解を深め、ともに治療を進めていきましょう。



地域医療支援病院

社会福祉法人

恩賜財団

大阪府済生会千里病院

(編集・発行) 広報ホームページ委員会・経営企画課

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号 TEL.06-6871-0121(代)

ホームページ <http://www.senri.saiseikai.or.jp/>

■ 本紙についてのご意見・ご感想などございましたら、下記までお寄せ下さい。
E-mail: hanamizuki@senri.saiseikai.or.jp (右のQRコードからもアクセスできます)

